

## 「じゃらん宿泊旅行調査 2019」



- 2018年度の宿泊旅行実施率は56.4%、2年連続で増加
- 「一人旅」のシェアがさらに拡大し、全旅行のうち18.0%を占める
- 延べ宿泊旅行者数は1位東京都、2位北海道、3位大阪府。ベスト10の順位に変動なし

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の観光に関する調査・研究、地域振興機関「じゃらんリサーチセンター」（センター長：沢登 次彦）は、この度、全国1万5,559人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん宿泊旅行調査 2019」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行実態を把握するために進めている調査で、出張・帰省・修学旅行などを除いたマーケットの動向を調べています。2018年度（2018年4月～2019年3月）における国内宿泊旅行の行き先や回数、旅行費用などを調査し、今年で15回目の実施となります。主な結果は以下の通りです。

### TOPICS

#### 【延べ宿泊旅行者数推計】

・・・・・・・・・・ P3

- 2018年度（2018年4月～2019年3月）の宿泊旅行実施率は56.4%、2年連続で増加
- 宿泊旅行実施率は20～34歳男性で2年連続増加、20～34歳女性で前年度より3.8pt増
- 宿泊旅行実施者の年間の平均旅行回数は2.78回で前年値と同じ、平均宿泊数は1.78泊と前年度をやや上回る
- 延べ宿泊旅行者数は1億4777万人、延べ宿泊数は2億6416万人泊で、いずれも前年度比微増

#### 【宿泊旅行の費用総額】

・・・・・・・・・・ P4

- 宿泊旅行にかけられた費用総額は8兆6496億円、うち現地消費が3兆4830億円で4割を占める
- 1回（大人1人あたり）の宿泊旅行にかかった費用は、平均で5万8,500円

#### 【同行形態】

・・・・・・・・・・ P5

- 「一人旅」が微増し18.0%、35～49歳男性以外の全ての属性で増加傾向

#### 【都道府県別の延べ宿泊旅行者数と増減】

・・・・・・・・・・ P6

- 延べ宿泊旅行者数1位は東京都、2位は北海道、3位は大阪府。ベスト10の順位に変動なし
- 延べ宿泊旅行者数の増加率トップは徳島県、前年度比37.9%増。以下、2位山口県、3位和歌山県

#### 【テーマ別・都道府県魅力度ランキング】

・・・・・・・・・・ P8-9

▶ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった	1位	石川県	2位	高知県	3位	北海道
▶ 魅力のある特産品や土産物が多かった	1位	沖縄県	2位	北海道	3位	熊本県
▶ 魅力的な宿泊施設が多かった	1位	大分県	2位	沖縄県	3位	熊本県
▶ 地元の人ホスピタリティを感じた	1位	沖縄県	2位	熊本県	3位	青森県、鹿児島県
▶ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	和歌山県
▶ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	大阪府
▶ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	沖縄県	2位	千葉県	3位	奈良県
▶ 現地で良い観光情報を入手できた	1位	沖縄県	2位	北海道、京都府		

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

## 調査概要

◎調査名 じゃらん宿泊旅行調査2019

◎調査方法 インターネットによる調査

### ■1次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者を抽出することに加え、性・年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施した
- ②調査時期 2019年4月1日(月)～10日(水)
- ③調査対象 全国20～79歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④配信数 69万6,989件
- ⑤調査内容 2018年度(2018年4月～2019年3月)1年間の国内宿泊旅行(出張・帰省・修学旅行などを除く)実態
- ⑥回収数 8万件(回収率11.5%)
- ⑦1次調査 集計対象者数 2万件
  - ※2次調査において都道府県別、性・年代別の割付にあった回収が得られるように配信した
  - ・配信数と割付について  
2次調査のセル別目標回収数は、「平成27年 国勢調査」の都道府県別・性・年代別の人口におおむね従うように47都道府県を5ランクに分けサンプル数を割り付けて配信した  
ランクごとに6:5:3:2:1の割合で、合計約1万5,400件の回収を目標とした
  - ・2次調査の配信数は、ウェイトバック値のバランスをなるべくそろえるために、県別に均等割付ではなく、ランクを設けて割付を行った上で、1次調査および追加調査の旅行実施者4万5515件を都道府県ごとに分配し、サンプル数を割り付けて配信した
  - ※回収された8万件のうち都道府県別・性・年代別に割付を行い2万件を抽出  
性・年代別宿泊旅行実施率を算出
- ⑧2次調査対象件数 4万5,149件

### ■2次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者に対して、宿泊旅行の内容を知るために実施した
- ②調査時期 2019年4月5日(金)～19日(金)
- ③調査対象 4万4,515件(うち、同居家族モニター366件)
  - ・1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人:4万5,149件
  - ・追加調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人のうち、調査協力が得られた60歳以上の家族本人:366件
  - ※調査回収難度が高い60歳以上の回収数を増やすために追加調査を実施した  
追加調査は株式会社マクロミルの登録モニターのうち60歳以上の家族と同居しているモニターを対象として、該当家族が同席する上で回答という条件で実施した  
(回収数1万件<配信数8万5,162件 回収率11.7%>、2次調査対象者数366件)
- ④配信数 2万7,138件(うち、同居家族モニター269件)  
※配信数は対象者の中から都道府県別、性・年代別の割付にあわせてランダムに抽出した
- ⑤調査内容 昨年度1年間に実施したすべての宿泊旅行(出張・帰省・修学旅行などを除く)の行き先と回数について、また1人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した
- ⑥回収数 1万5,620件(回収率57.6%)
- ⑦有効回答数 1万5,559件(うち、同居家族モニター235件、旅行件数ベース3万717件)

#### ※集計・分析手法について

はじめに平成30年10月1日現在人口推計(総務省統計局発表)および1次調査結果を用い、全国の宿泊旅行者の母集団を推計した。次に、2次調査の集計・分析にあたり、推計された宿泊旅行者の母集団における都道府県別、性・年代別構成比に基づいてウェイトバックを行い、構成比のずれを補正している

また今回は60歳以上の登録モニター数が少ない道府県について、60歳以上の家族と同居している登録モニターに代理回答を実施、2次調査の調査対象として追加した

宿泊旅行実施率、延べ宿泊旅行者数、延べ宿泊数、いずれも2年連続増加  
特に若年層（20～34歳）での宿泊旅行実施率の伸びが目立つ

2018年度の1年間に宿泊旅行（※1）を行った人の割合は56.4%で2年連続で微増となった。特に若年層における伸びが高く、20～34歳の男性では2年連続の増加、20～34歳の女性では前年から3.8ptの増加となった。実施者における年間平均旅行回数は2.78回で前年と同レベルだが、宿泊旅行1回あたりの平均宿泊数は1.78泊とやや増加。延べ宿泊旅行者数（※2）は前年度比1.5%増、延べ宿泊数（※3）は前年度比3.0%増で、いずれも2年連続で増加。

- ※1 宿泊旅行・・・国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く。ただし、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも宿泊を伴う旅行であれば含める
- ※2 延べ宿泊旅行者数・・・推計人口 × 宿泊旅行実施率 × 宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数
- ※3 延べ宿泊数（人泊）・・・延べ宿泊旅行者数 × 宿泊旅行実施者の1回の旅行あたり平均宿泊数
- ※4 宿泊数の設問形式を2014年度から変更。主なエリアの宿泊数と他エリア、他の都道府県の宿泊数を分けて尋ね、それぞれ合算して平均宿泊数を算出。よって、2013年度以前の平均宿泊数、延べ宿泊数（斜体の部分）は直接は比較できない参考値

■ 延べ宿泊旅行者数の推計方法（※4）

※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っている

	H30年10月1日 現在人口推計	調査結果				推計値		
	人口	宿泊旅行 実施率	宿泊旅行 実施者の 年間平均 旅行回数	宿泊旅行 実施者の 1回の旅行あたり 平均宿泊数	実 宿泊旅行者数	延べ 宿泊旅行者数	延べ 宿泊数	
	(万人) <A>	(%) <B>	(回) <C>	(泊) <D>	(万人) A*B	(万人回) A*B*C	(万人泊) A*B*C*D	
(2018年度)全国20～79歳男女	9,408	56.4	2.78	1.78	5,310	14,777	26,416	
	前年との差→	0.8	0.00	前年との差→	66	221	770	
				前年比→	1.3%	1.5%	3.0%	
(2017年度)全国20～79歳男女	9,438	55.6	2.78	1.76	5,244	14,556	25,646	
(2016年度)全国20～79歳男女	9,475	54.8	2.77	1.76	5,188	14,358	25,308	
(2015年度)全国20～79歳男女	9,498	56.4	2.86	1.75	5,358	15,313	26,903	
(2014年度)全国20～79歳男女	9,520	56.9	2.79	1.68	5,420	15,110	25,397	
(2013年度)全国20～79歳男女	9,557	57.5	2.84	1.60	5,491	15,599	24,972	
(2012年度)全国20～79歳男女	9,598	55.8	2.71	1.61	5,354	14,505	23,445	
(2011年度)全国20～79歳男女	9,646	57.6	2.64	1.63	5,561	14,686	23,987	
(2010年度)全国20～79歳男女	9,672	56.7	2.73	1.64	5,489	15,020	24,686	
(2009年度)全国20～79歳男女	9,653	60.3	2.79	1.65	5,819	16,239	26,778	
(2008年度)全国20～79歳男女	9,688	63.1	2.84	1.68	6,110	17,355	29,235	
(2007年度)全国20～79歳男女	9,707	63.8	2.83	1.69	6,196	17,514	29,604	
(2006年度)全国20～79歳男女	9,686	64.7	2.77	1.69	6,269	17,366	29,325	
(2005年度)全国20～79歳男女	9,722	66.1	2.78	1.72	6,424	17,875	30,856	
(2004年度)全国20～79歳男女	9,707	65.4	2.73	1.68	6,350	17,343	29,024	

※人口について、次の統計値を用いて調査を行っています。

2018年度：H30年10月1日現在人口推計	2017年度：H29年10月1日現在人口推計	2016年度：H28年10月1日現在人口推計	2015年度：H27年国勢調査<速報>
2014年度：H26年10月1日現在人口推計	2013年度：H25年10月1日現在人口推計	2012年度：H24年10月1日現在人口推計	2011年度：H23年10月1日現在人口推計
2010年度：H22年国勢調査<速報>	2009年度：H21年10月1日現在人口推計	2008年度：H20年10月1日現在人口推計	2007年度：H19年10月1日現在人口推計
2006年度：H17年10月1日現在国勢調査人口	2005年度：H16年10月1日現在人口推計	2004年度：H15年10月1日現在人口推計	

■ 性・年代別宿泊旅行実施率の推移

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
全国20～79歳男女	65.4	66.1	64.7	63.8	63.1	60.3	56.7	57.6	55.8	57.5	56.9	56.4	54.8	55.6	56.4
20～34歳 / 男性	62.5	61.4	61.0	61.8	60.6	57.0	53.2	57.2	52.8	51.3	54.1	53.8	51.7	54.8	56.2
20～34歳 / 女性	68.0	66.7	67.1	66.3	66.8	65.0	61.3	64.0	62.3	64.0	64.3	61.9	60.3	60.5	64.3
35～49歳 / 男性	61.9	62.2	60.4	60.1	59.6	56.9	53.6	53.0	51.8	53.1	53.7	53.4	52.0	53.3	53.5
35～49歳 / 女性	62.6	64.8	61.5	58.9	58.7	57.8	53.6	55.9	53.7	56.3	55.3	54.8	53.8	55.5	56.2
50～79歳 / 男性	63.8	67.4	64.8	64.7	63.2	59.9	55.1	55.9	54.4	57.6	56.2	55.6	55.0	54.7	54.8
50～79歳 / 女性	70.3	69.7	69.2	67.3	66.5	63.1	61.2	60.2	59.0	60.3	58.5	58.6	55.6	56.1	56.8

■ 性・年代別延べ宿泊旅行者数の推移

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
全国20～79歳男女	17,343	17,875	17,366	17,514	17,355	16,239	15,020	14,686	14,505	15,599	15,110	15,313	14,358	14,556	14,777
20～34歳 / 男性	2,219	2,201	2,036	2,075	1,975	1,879	1,612	1,608	1,450	1,537	1,553	1,545	1,434	1,564	1,645
20～34歳 / 女性	2,319	2,284	2,214	2,102	2,074	1,876	1,802	1,705	1,648	1,779	1,691	1,627	1,543	1,573	1,666
35～49歳 / 男性	2,045	2,175	1,833	2,106	2,084	2,069	1,888	1,902	1,864	2,038	2,028	2,128	1,984	1,959	1,891
35～49歳 / 女性	1,963	2,017	1,847	1,900	1,856	1,841	1,777	1,711	1,669	1,851	1,776	1,823	1,771	1,702	1,785
50～79歳 / 男性	3,959	4,472	4,424	4,310	4,414	3,946	3,578	3,601	3,543	3,941	3,795	3,889	3,772	3,812	3,850
50～79歳 / 女性	4,837	4,726	5,013	5,022	4,952	4,628	4,362	4,158	4,331	4,453	4,266	4,301	3,855	3,946	3,940

宿泊旅行にかけられた費用総額は8兆6496億円

そのうち現地消費にかけられた費用は3兆4830億円、4割を占める

1回あたりの宿泊旅行費用（※5）は、平均で総額5万8,500円。うち、宿泊・交通にかけられた費用は3万4,900円、現地消費は2万3,600円となった。パック旅行では現地消費が高くなる傾向があり、全体平均を500円ほど上回る。

総額では推計で8兆6496億円。現地消費はうち4割ほどを占めている。

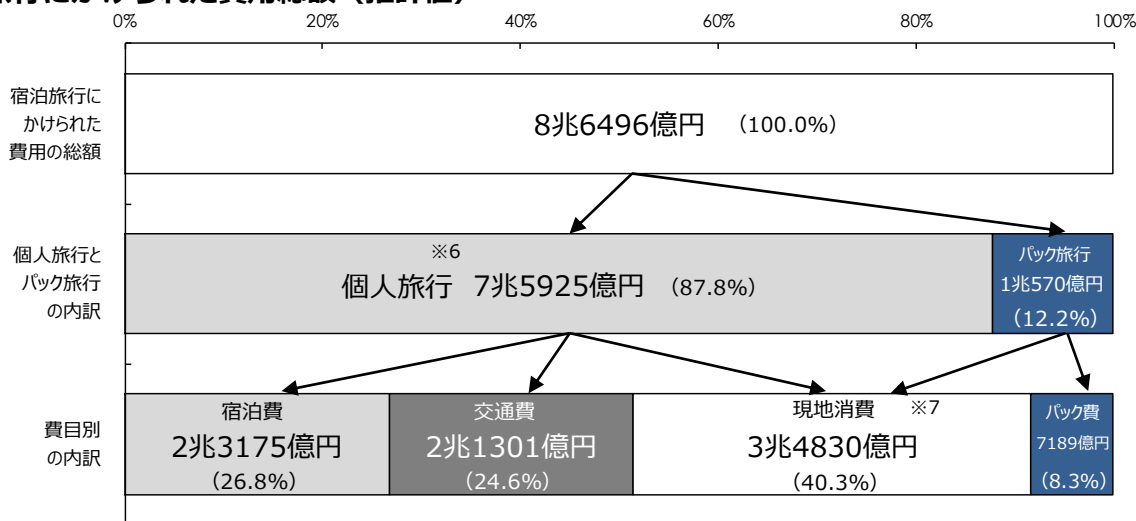
※5 1回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）・・・1回の宿泊旅行にかかった費用について、個人旅行の場合、1人あたりの宿泊費・交通費・現地消費の合計。パック旅行の場合、1人あたりのパック費・現地消費の合計

20歳未満の子供を連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている

※6 個人旅行・・・個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む

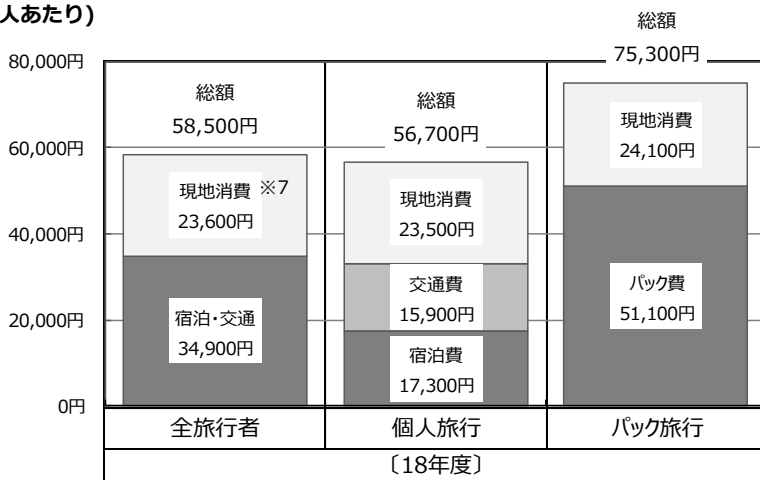
※7 現地消費・・・旅行中に、現地で消費した費用の合計。買い物、飲食、体験・観光、移動など、28項目の中で、実施した行動の費用の合計を指す。ただし、宿泊プラン・ツアーに含まれていた費用は除く  
今年度より「現地消費」の聴取方法を変更した（17年度までは一括で「現地小遣い」を尋ねる方法）

■ 宿泊旅行にかけられた費用総額（推計値）



■ 1回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合がある



＜全国の宿泊旅行費用総額の推計方法＞

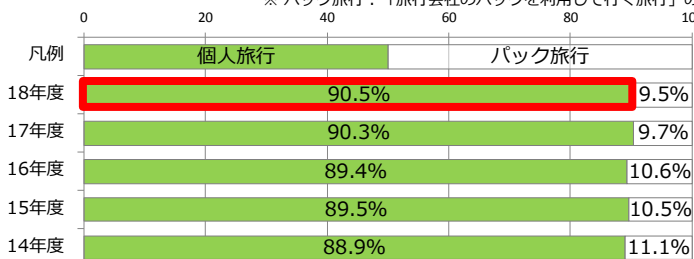
- ①集計データより全国の性・年代別の個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②全国の性・年代・手配方法（個人orパック）別の旅行費用の平均値（単価）を算出
- ③全国の性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④性・年代別の費用総額の結果を積み上げて全国の宿泊旅行費用総額を算出

＜参考＞ 宿泊旅行の手配方法

※ベース：宿泊旅行件数

※個人旅行：「自分たちで宿を手配」と「旅行会社を通して宿を手配」と回答した人を合わせた割合

※パック旅行：「旅行会社のパックを利用して行く旅行」の割合



「一人旅」が微増し18.0%

35~49歳男性以外の全ての属性で増加し、過去最高値

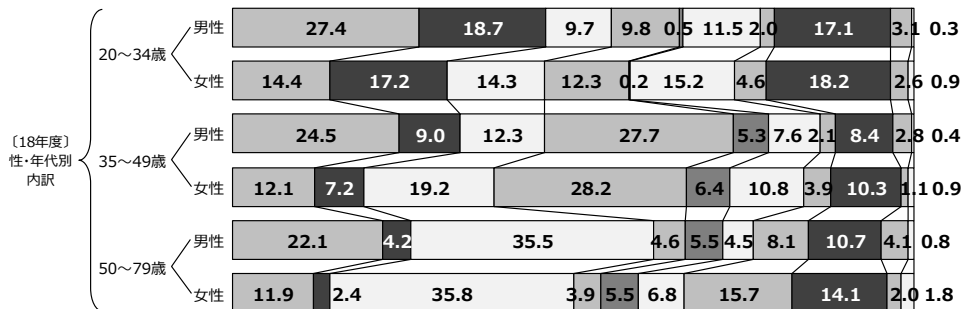
最も割合が高いのは「夫婦二人での旅行」で25.2%。次いで「一人旅」が18.0%と続く。前年度から増加したのは「一人旅」「恋人との旅行」「小学生以下の子連れ家族旅行」「友人との旅行」。「一人旅」は35~49歳の男性を除いて、全ての属性で増加し、過去最高値。

■ 宿泊旅行の同行形態（単一回答）

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数>

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない

	一人旅	恋人との旅行	夫婦二人での旅行	小学生以下の子連れ家族旅行	中学生以上の子連れ家族旅行	親連れ家族旅行	その他の家族旅行	友人との旅行	職場やサークルなど団体旅行	その他
〔18年度〕全体	18.0	7.8	25.2	12.0	4.5	8.4	7.8	12.8	2.7	1.0
〔17年度〕全体	17.2	7.3	25.7	11.1	4.5	8.9	8.4	12.7	2.9	1.2
〔16年度〕全体	17.2	7.0	25.5	11.8	4.3	8.5	8.3	13.1	3.2	1.2
〔15年度〕全体	17.5	7.0	25.3	11.2	4.2	8.5	8.4	13.2	3.3	1.4
〔14年度〕全体	15.9	7.3	24.5	11.9	4.2	8.2	8.9	13.9	3.8	1.4
〔13年度〕全体	15.4	7.0	24.8	11.7	4.3	8.4	9.1	13.8	3.8	1.7
〔12年度〕全体	14.5	7.2	24.1	12.7	4.3	7.9	9.2	13.8	4.4	1.8
〔11年度〕全体	14.1	7.4	24.5	12.6	4.0	8.0	8.8	14.3	4.5	1.9
〔10年度〕全体	13.1	7.2	24.4	12.8	3.9	7.8	9.0	15.3	4.7	1.8
〔09年度〕全体	12.9	7.4	24.3	12.4	3.7	7.7	9.3	15.2	5.2	2.0
〔08年度〕全体	12.5	7.4	24.2	12.0	3.6	7.6	9.3	15.3	5.8	2.2
〔07年度〕全体	12.0	7.3	23.8	12.4	3.7	7.2	9.3	15.9	6.1	2.2
〔06年度〕全体	11.2	7.7	24.0	12.8	3.5	7.1	9.5	16.4	5.7	2.2
〔05年度〕全体	10.8	7.7	23.6	13.5	3.7	7.0	9.5	15.6	6.4	2.1
〔04年度〕全体	10.5	8.1	22.4	14.6	4.3	7.3	8.6	15.3	5.8	3.0



■ 「一人旅」構成比の推移

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数>

(%)

性・年代別	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	
20~34歳	男性	14.9	17.7	19.5	20.3	20.1	21.6	20.9	23.3	23.2	26.1	26.9	28.8	29.1	26.8	27.4
	女性	7.2	8.2	8.7	8.6	9.2	10.3	10.0	10.7	10.2	11.6	12.6	14.3	12.6	13.9	14.4
35~49歳	男性	12.3	13.7	13.9	15.2	15.7	16.7	18.4	18.5	20.9	21.9	23.0	24.8	24.2	26.2	24.5
	女性	5.8	6.7	6.7	7.3	7.7	7.4	9.4	8.2	8.0	9.7	10.1	11.7	11.3	10.7	12.1
50~79歳	男性	13.6	12.5	12.2	13.1	14.6	14.1	14.1	17.4	16.9	17.7	18.3	19.2	20.1	20.7	22.1
	女性	8.9	8.1	8.8	9.5	9.6	10.3	9.8	9.9	11.3	11.0	10.4	12.3	11.4	10.6	11.9



延べ宿泊旅行者数1位は東京都、2位北海道、3位大阪府  
ベスト10いずれも順位に変動なし

延べ宿泊旅行者数の増加率トップ<sup>3</sup>は徳島県、山口県、和歌山県

延べ宿泊旅行者数の多い旅行先（都道府県別の延べ宿泊旅行者数）は、ベスト10の順位にまったく変動が見られない結果となった。「延べ宿泊旅行者数」の増加率1位は徳島県で37.9%と大幅増。続いて山口県（16.5%増）、和歌山県（15.0%増）。ブロック別に見ると、関東ブロックで135万人と大きく増加。うち65万人は千葉県への旅行者増加によるもの。居住地ブロック別に見ると同じ関東、および関西からの旅行者が増えている。

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない。ただし、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも、宿泊を伴う旅行であれば含める

※1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回とカウントしている

※1人あたり1年間に行ったすべての旅行回数を尋ねた結果から推計している

■ 都道府県別の延べ宿泊旅行者数（推計値）

※上位10都道府県

全体						増減傾向				
2018年度 推計値		順位 変動	2017年度 推計値	2016年度 推計値	2015年度推計値	2014年度推計値	18← 17	17← 16	16← 15	15← 14
全国	14,777万人		14,556万人	14,358万人	15,313万人	15,110万人	+	+	-	+
1位 東京都	1,573万人	←	(1位 1,541万人)	(1位 1,527万人)	1,675万人	1,702万人	+	+	-	-
2位 北海道	1,134万人	←	(2位 1,066万人)	(2位 988万人)	1,069万人	1,064万人	+	+	-	+
3位 大阪府	809万人	←	(3位 775万人)	(5位 697万人)	776万人	749万人	+	+	-	+
4位 静岡県	733万人	←	(4位 773万人)	(3位 723万人)	748万人	770万人	-	+	-	-
5位 神奈川県	705万人	←	(5位 710万人)	(4位 708万人)	727万人	768万人	-	+	-	-
6位 長野県	693万人	←	(6位 702万人)	(6位 671万人)	809万人	720万人	-	+	-	+
7位 京都府	623万人	←	(7位 637万人)	(7位 618万人)	625万人	704万人	-	+	-	-
8位 千葉県	619万人	←	(8位 553万人)	(8位 564万人)	622万人	598万人	+	-	-	+
9位 沖縄県	533万人	←	(9位 540万人)	(11位 449万人)	449万人	515万人	-	+	=	-
10位 福岡県	496万人	←	(10位 503万人)	(10位 480万人)	507万人	517万人	-	+	-	-

■ 都道府県別の延べ宿泊旅行者増加率・増加数（2018年度-2017年度推計値）

※増加率上位10都道府県

全体		
2018年度←17年度	増加率	増加数
1位 徳島県	37.9%	30万人
2位 山口県	16.5%	24万人
3位 和歌山県	15.0%	31万人
4位 富山県	11.8%	18万人
4位 千葉県	11.8%	65万人
6位 山梨県	7.7%	19万人
7位 茨城県	7.6%	10万人
8位 愛媛県	7.2%	12万人
9位 高知県	6.5%	7万人
10位 熊本県	6.4%	14万人

【参考】ブロック別の延べ宿泊旅行者数増減

（2018年度-2017年度推計値）

		旅行先ブロック								
		北海道 ブロック	東北 ブロック	関東 ブロック	甲信越・北 陸ブロック	東海 ブロック	関西 ブロック	中四国 ブロック	九州 ブロック	沖縄 ブロック
全体	18年度	1,134	1,294	3,931	1,842	1,705	2,424	1,424	1,616	533
	17年度	1,066	1,269	3,795	1,856	1,742	2,378	1,433	1,621	540
	16年度	988	1,230	3,790	1,905	1,725	2,281	1,428	1,691	449
	18-17年度増減	68	25	135	-14	-37	46	-8	-5	-7
居住地 ブロック	北海道ブロック	39	0	-4	3	8	2	9	7	-1
	東北ブロック	51	39	19	-7	-12	10	-10	-7	-3
	関東ブロック	-6	7	44	37	-24	50	-53	7	-25
	甲信越・北陸ブロック	4	-8	14	-6	10	24	-4	-1	-4
	東海ブロック	-9	-13	15	-19	-40	-21	38	-2	-5
	関西ブロック	-12	-7	36	-22	7	-8	11	-2	11
	中四国ブロック	-1	8	20	-1	2	-6	22	11	5
	九州ブロック	0	-2	2	0	10	-13	-29	-24	-5
	沖縄ブロック	0	0	-10	1	2	10	7	4	20

※全体増減/-100万人以上：網掛け白文字、+100万人以上：網掛け黒文字 ※ブロック別増減/-30万人以上：網掛け白文字、+30万人以上：網掛け黒文字

# 《選んだ理由別 都道府県ランキング》

国内旅行をした人になぜその旅行先を選んだかを聞き、理由別にランキングを作成した。

- 特定のイベントやアクティビティに興味・・・1位：千葉県
- テレビや雑誌などで話題・・・1位：長崎県
- 特定の観光地・スポットに興味・・・1位：島根県
- 食・特産品に興味・・・1位：高知県
- 良い宿・ホテル・・・1位：大分県
- 魅力的な温泉・・・1位：大分県

## ■ 特定のイベントやアクティビティに興味があったから

(単位：%)

2018年度 順位		2017年度 順位	
全体平均	32.7	全体平均	31.7
1位 千葉県	44.8	1位 沖縄県	46.3
2位 沖縄県	44.3	2位 千葉県	41.4
3位 長崎県	41.0	2位 徳島県	41.4
4位 大阪府	40.5	4位 大阪府	40.1
5位 北海道	39.8	5位 福岡県	39.5
6位 東京都	37.6	6位 長崎県	38.8
7位 新潟県	36.9	7位 北海道	37.5
8位 福岡県	36.5	8位 東京都	36.9
9位 鹿児島県	35.4	9位 青森県	36.2
10位 徳島県	34.7	10位 秋田県	35.5

## ■ テレビや雑誌などで話題になっていたから

(単位：%)

2018年度 順位		2017年度 順位	
全体平均	21.8	全体平均	21.4
1位 長崎県	31.2	1位 北海道	29.5
2位 沖縄県	30.2	2位 長崎県	28.6
3位 北海道	29.7	3位 石川県	28.4
4位 石川県	28.9	4位 沖縄県	26.7
5位 三重県	27.7	4位 京都府	26.7
6位 鹿児島県	27.2	6位 島根県	26.3
7位 大分県	26.6	7位 鹿児島県	25.6
8位 千葉県	25.5	8位 愛媛県	25.5
9位 和歌山県	25.4	9位 広島県	25.4
10位 広島県	24.8	10位 大分県	24.9
		10位 三重県	24.9

## ■ 特定の観光地・観光スポットに興味があったから

(単位：%)

2018年度 順位		2017年度 順位	
全体平均	64.2	全体平均	63.9
1位 島根県	83.7	1位 島根県	82.7
2位 長崎県	81.5	2位 長崎県	81.1
3位 和歌山県	76.9	3位 奈良県	81.0
4位 沖縄県	76.4	4位 三重県	78.8
5位 三重県	75.8	5位 京都府	76.8
6位 広島県	75.6	6位 広島県	76.7
7位 奈良県	74.7	7位 青森県	76.6
7位 香川県	74.7	8位 沖縄県	76.1
9位 山口県	73.9	9位 和歌山県	74.0
10位 京都府	72.8	10位 愛媛県	72.6

## ■ そこならではの食・特産品に興味があったから

(単位：%)

2018年度 順位		2017年度 順位	
全体平均	43.4	全体平均	42.4
1位 高知県	63.8	1位 高知県	60.7
2位 香川県	63.7	2位 北海道	60.3
3位 沖縄県	61.0	3位 沖縄県	59.5
4位 石川県	60.7	4位 香川県	57.3
5位 北海道	60.5	5位 石川県	57.1
6位 富山県	55.7	6位 広島県	52.8
7位 長崎県	54.9	7位 京都府	52.3
8位 鹿児島県	51.7	8位 熊本県	51.9
9位 三重県	50.8	9位 鹿児島県	50.9
9位 大分県	50.8	10位 福井県	50.2

## ■ 良い宿・ホテルがあったから

(単位：%)

2018年度 順位		2017年度 順位	
全体平均	50.1	全体平均	49.8
1位 大分県	68.9	1位 大分県	65.4
2位 群馬県	67.0	2位 栃木県	63.2
3位 栃木県	66.3	3位 静岡県	63.0
4位 和歌山県	62.8	4位 群馬県	61.6
5位 静岡県	61.9	5位 福島県	59.0
6位 神奈川県	58.4	5位 和歌山県	59.0
7位 三重県	58.2	7位 神奈川県	56.4
8位 熊本県	57.2	8位 岩手県	56.2
9位 兵庫県	56.0	9位 長野県	55.7
10位 山形県	54.8	10位 三重県	55.1

## ■ 魅力的な温泉があったから

(単位：%)

2018年度 順位		2017年度 順位	
全体平均	34.3	全体平均	34.8
1位 大分県	77.6	1位 大分県	75.0
2位 群馬県	74.1	2位 群馬県	71.6
3位 愛媛県	62.1	3位 愛媛県	63.4
4位 山形県	59.4	4位 山形県	62.0
5位 栃木県	59.2	5位 和歌山県	61.4
6位 熊本県	57.8	6位 栃木県	59.7
7位 佐賀県	57.4	7位 鳥取県	59.2
8位 鳥取県	56.3	8位 岐阜県	55.6
9位 静岡県	53.0	9位 鹿児島県	54.6
10位 岐阜県	52.6	10位 福島県	54.1

<ランキングの算出方法>

※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース

①訪問した旅行先を選んだ理由を「当てはまる」「やや当てはまる」「どちらともいえない」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の5段階から選択

②「当てはまる」「やや当てはまる」の割合が多い順にランキング

■ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった

- 1位：石川県、2位：高知県、3位：北海道

ベスト3の順位に変動なし。

宮城県、長崎県、和歌山県が新たにランクイン。

ベスト3は変動がなく、石川県が2年連続で1位。4位の熊本県、5位の沖縄県、6位の香川県はそれぞれ順位を上げた。圏外からランクインした8位の宮城県は「牛タン（料理）」が圧倒的人气、長崎県は「ちゃんぽん」、10位の和歌山県は「マグロ」などの魚介類の名前が挙がっている。

(単位：%)

2018年度 順位		2017年度 順位	
全体平均	60.9	全体平均	58.9
1位 石川県	77.9	1位 石川県	76.6
2位 高知県	77.0	2位 高知県	75.0
3位 北海道	76.4	3位 北海道	74.8
4位 熊本県	76.2	4位 山形県	74.5
5位 沖縄県	75.1	5位 富山県	74.0
6位 香川県	74.3	6位 青森県	73.7
7位 富山県	72.8	6位 沖縄県	73.7
8位 宮城県	72.5	8位 熊本県	73.4
8位 長崎県	72.5	9位 香川県	71.2
10位 和歌山県	72.0	10位 三重県	70.5

■ 魅力のある特産品や土産物が多かった

- 1位：沖縄県、2位：北海道、3位：熊本県

沖縄県は14年連続1位。

3位の熊本県は圏外から一気にベスト3入り。

1位の沖縄県は14年連続。2位は前年度に続き北海道。3位の熊本県は圏外からランクイン、「馬刺し」に加えて「キャラクターグッズ」が変わらず人気。ほか、6位の鹿児島県（「さつまあげ」「かるかん」「芋焼酎」）、8位の宮城県（「ささかま」「ずんだ餅」「牛タン」）、10位の三重県（和菓子）が新たにランクイン。

(単位：%)

2018年度 順位		2017年度 順位	
全体平均	50.6	全体平均	48.4
1位 沖縄県	69.9	1位 沖縄県	69.1
2位 北海道	65.0	2位 北海道	62.1
3位 熊本県	63.7	3位 石川県	62.0
4位 石川県	63.6	4位 高知県	61.8
5位 長崎県	62.2	5位 京都府	61.5
6位 鹿児島県	61.5	6位 青森県	60.4
7位 京都府	61.4	7位 富山県	60.2
8位 宮城県	61.0	8位 広島県	58.6
9位 高知県	60.7	9位 長崎県	58.0
10位 三重県	60.0	10位 宮崎県	57.8

■ 魅力的な宿泊施設が多かった

- 1位：大分県、2位：沖縄県、3位：熊本県

4年連続で大分県が1位。

和歌山県、兵庫県、三重県が新たにベスト10入り。

1位の大分県をはじめ、有名温泉地を有する地域が上位に。4位の和歌山県は「白浜温泉」、7位の兵庫県は「城崎温泉」などが挙げられている。一方、2位の沖縄県はリゾートホテルの具体的な名称が挙がるケースが多い。

(単位：%)

2018年度 順位		2017年度 順位	
全体平均	44.4	全体平均	43.5
1位 大分県	64.0	1位 大分県	63.6
2位 沖縄県	60.1	2位 沖縄県	56.6
3位 熊本県	57.3	3位 栃木県	51.5
4位 和歌山県	56.8	4位 石川県	51.2
5位 群馬県	54.8	5位 愛媛県	51.0
6位 北海道	53.5	6位 熊本県	50.8
7位 兵庫県	50.3	7位 北海道	50.3
8位 栃木県	50.2	8位 山形県	50.0
9位 三重県	49.6	9位 岩手県	49.9
10位 愛媛県	49.4	10位 群馬県	49.6

■ 地元の人々のホスピタリティを感じた

- 1位：沖縄県、2位：熊本県、3位：青森県、鹿児島県

沖縄県は14年連続1位。2位に熊本県が急上昇。

大分県、香川県、佐賀県など西日本エリアに勢いが。

1位の沖縄県は今年で14年連続の1位。2位の熊本県をはじめ、西日本エリアからのランクインが目立つ。6位の大分県は「お土産をおまけしてもらった」「観光地としてホスピタリティを感じた」との意見も。10位の佐賀県は「唐津くんち」や「バルーンフェスタ」などお祭りやイベントに関するコメントが多い。

(単位：%)

2018年度 順位		2017年度 順位	
全体平均	24.8	全体平均	24.3
1位 沖縄県	47.1	1位 沖縄県	48.3
2位 熊本県	33.9	2位 高知県	37.1
3位 青森県	33.2	3位 青森県	34.9
3位 鹿児島県	33.2	4位 岩手県	33.2
5位 山形県	32.9	5位 熊本県	32.7
6位 北海道	31.6	6位 北海道	30.9
6位 大分県	31.6	7位 鹿児島県	30.3
8位 香川県	31.0	8位 愛媛県	29.5
8位 高知県	31.0	9位 山形県	29.3
10位 佐賀県	30.8	10位 宮崎県	29.2



(単位：%)

■ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：和歌山県

1位の千葉県は14年連続。ベスト3に順位の変動なし。  
5位の栃木県、9位の鳥取県が新たにランクイン。

5位の栃木県は具体的なテーマパーク名が多く挙がっている。9位の鳥取県は、水木しげるロードなどの観光スポットや海水浴、また鳥取砂丘も人気。

2018年度 順位	
全体平均	25.3
1位 千葉県	54.1
2位 沖縄県	41.1
3位 和歌山県	39.9
4位 三重県	34.9
5位 栃木県	32.1
6位 大分県	31.8
7位 大阪府	31.2
8位 長崎県	31.0
9位 鳥取県	27.8
10位 北海道	27.2
10位 山梨県	27.2

2017年度 順位	
全体平均	23.7
1位 千葉県	51.5
2位 沖縄県	40.1
3位 和歌山県	37.3
4位 長崎県	34.8
5位 大分県	32.6
6位 大阪府	32.1
7位 三重県	30.3
8位 山梨県	27.3
9位 北海道	26.6
10位 熊本県	25.2

(単位：%)

■ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：大阪府

トップ3の顔ぶれは2005年度以来変わらず。  
千葉県が沖縄県をかわして1位を獲得。

4位の和歌山県は白浜エリアのテーマパークが大人気で4ランクアップ。新たにベスト10にランクインした7位の大分県は、テーマパークや温泉スポットに加えて、ホテル内のアミューズメント施設も名前が挙がっている。

2018年度 順位	
全体平均	27.9
1位 千葉県	52.2
2位 沖縄県	51.0
3位 大阪府	41.1
4位 和歌山県	36.1
5位 東京都	33.4
6位 長崎県	31.3
7位 大分県	30.9
8位 北海道	30.1
9位 福岡県	30.0
10位 神奈川県	29.5
10位 三重県	29.5

2017年度 順位	
全体平均	26.2
1位 沖縄県	50.2
2位 千葉県	48.1
3位 大阪府	39.1
4位 長崎県	36.3
5位 東京都	31.7
6位 北海道	30.2
7位 福岡県	29.7
8位 和歌山県	29.4
9位 神奈川県	26.5
9位 三重県	26.5

(単位：%)

■ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：沖縄県、2位：千葉県、3位：奈良県

沖縄県は3年連続で1位。  
奈良県が3ランクアップで3位に浮上。

3位に入った奈良県は、神社仏閣に加えて博物館も人気。9位に入った広島県は圧倒的に神社が多いが、野球観戦も多く挙がっている。10位の石川県は庭園や城下町などの街巡りが人気だ。

2018年度 順位	
全体平均	42.0
1位 沖縄県	57.9
2位 千葉県	55.4
3位 奈良県	51.0
4位 長崎県	49.4
5位 京都府	48.6
6位 三重県	47.7
7位 和歌山県	47.2
8位 大分県	46.8
9位 広島県	45.4
10位 石川県	44.6

2017年度 順位	
全体平均	39.7
1位 沖縄県	54.2
2位 千葉県	51.4
3位 京都府	51.0
4位 長崎県	50.5
5位 三重県	47.5
6位 奈良県	46.7
7位 北海道	44.1
8位 大分県	43.4
9位 和歌山県	42.9
10位 愛媛県	42.7

■ 現地で良い観光情報を入手できた

－ 1位：沖縄県、  
2位：北海道、京都府

ベスト3の顔ぶれは変わらず。  
青森県が4ランクアップ。

パンフレットや観光案内所、地元の人などに関するコメントが多い。京都府や鹿児島県ではガイドの説明が良かったとのコメントも。

(単位：%)

2018年度 順位	
全体平均	27.0
1位 沖縄県	46.0
2位 北海道	36.1
2位 京都府	36.1
4位 青森県	35.5
5位 鹿児島県	34.6
6位 鳥取県	34.5
7位 熊本県	34.3
8位 富山県	33.7
8位 愛媛県	33.7
10位 長崎県	33.4

2017年度 順位	
全体平均	27.0
1位 沖縄県	46.6
2位 京都府	38.4
3位 北海道	36.9
4位 長崎県	34.5
5位 熊本県	34.0
6位 奈良県	33.9
7位 鹿児島県	33.1
8位 青森県	32.9
9位 高知県	31.5
10位 愛媛県	31.2

<ランキングの算出方法>

- ※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース
- ①訪問した旅行先の評価を「そう思う」「ややそう思う」「ふつう」「あまりそう思わない」「そう思わない」の5段階から選択
- ②「そう思う」「ややそう思う」・計の割合が多い順にランキング

<コメントの回答方法>

「そう思う」「ややそう思う」と回答した設問に任意でコメント記入

※対象設問：「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」「魅力のある特産品や土産物が多かった」「魅力的な宿泊施設が多かった」「地元の人へのホスピタリティを感じた」「子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「現地で良い観光情報を入手できた」